

九州農政局 新技術・新工法 一覧表

1. 番号	2. 工種番号・分類(その1)	3. 工種番号・分類(その2)	4. 新技術の名称	5. 新技術の概要	6. 登録年度	7. 更新年度	8. 組織名(会社名)	9. キーワード(その1)	10. キーワード(その2)	11. 施工実績(件数)					12. 担当者所属・氏名	13. 担当者メールアドレス
										国営	公団営	県営	団体営	その他公共		
15	法面保護	16 農村整備	べた～とシート	防草効果と地被植物の活着促進を併せ持った国内初の二刀流防草シートです。シート下の設置により、シート下からの雑草の伸長と、飛来種子の活着を抑制します。シートに穴を開け、地被植物のポット苗を定植しますが、シートの織り方を工夫しているため、定植した苗から伸びたランナーがシートを貫通し、根をおろすことができます。そのため、防草しながら一帯を緑化することが可能となりました。農地の法面や畦畔における草刈り作業を減らすことができ、維持管理コストの大幅軽減が期待できる新しい工法です。	令和元年度		小泉製麻株式会社	8 コスト削減	5 景観保全		1			3	9 松下 晶季	a.matsushita@koizumi-im.jp

記入要領

※記入に当たっては、列数に変更(挿入)しないこと。セルの結合も行わないこと。

- | | |
|-----------------|---|
| 1. 番号 | 記入不要 |
| 2. 工種番号・分類(その1) | 下記の工種分類表を参考にドロップダウンで選択 |
| 3. 工種番号・分類(その2) | 上記「2. 工種番号・分類(その1)」以外に分類する必要がある場合は、ドロップダウンで選択 |
| 4. 新技術の名称 | 名称を記入 |
| 5. 新技術の概要 | 新技術の概要を簡略に記入 |
| 6. 登録年度 | 登録年度を記入する。今回が再提出(更新)の場合、当初年度を記入 |
| 7. 更新年度 | 更新の場合に当該年度を記入 |
| 8. 組織名(会社名) | 組織名、参画社名を表示(複数の場合は全社を記入) |
| 9. キーワード(その1) | 下記のキーワード選択表を参考にドロップダウンで選択 |
| 10. キーワード(その2) | 上記「9. キーワード(その1)」以外に加えるキーワードがある場合は、ドロップダウンで選択 |
| 11. 施工実績 | 項目別に件数のみを記入(※半角で記入) |
| 12. 担当者所属・氏名 | 担当者の所属、氏名を記入 |
| 13. 担当者メールアドレス | 担当者の連絡先のメールアドレスを記入(※メールアドレスはHPには非公開) |

工種分類表

工種番号・分類	備考
1-1 フィルダム	
1-2 コンクリートダム	
2 頭首工	
3 ポンプ場	
4 ほ場整備	
5 農地造成工	
6-1 農道(道路)	
6-2 農道(橋梁)	
6-3 農道(トンネル)	
7-1 水路工(開水路)	
7-2 水路工(暗渠)	
7-3 水路工(水路トンネル)	シールド工含む
7-4 水路工(水路橋)	
7-5 水路工(サイホン)	
8 河川及び排水路工	
9 管水路(バイブライ)工	推進工含む
10 畑かん施設工事	
11 干拓工事・海岸堤防	
12 ため池	
13 ファームpond	
14 農地保全	
15 法面保護	
16 農村整備	
17 農業集落排水工	
18 環境保全	
19 水管理施設	
20 ゲート・バルブ	
21 除塵機	
22 土壌改良	
23 公害対策	
24 基礎工	
25 仮設	
26 その他土木工事	
27 その他施設機械	
28 建築	
29 計画・設計技術	
30 測量技術	
31 情報化技術	
32 その他	

キーワード選択表

キーワード
1 農業生産性向上
2 高付加価値型農業
3 生活環境
4 自然環境
5 景観保全
6 生態系保全
7 国土保全
8 コスト削減
9 施設管理
10 施工作業効率
11 施工精度
12 施設の長寿命化
13 機能診断
14 予防保全
15 補修工法
16 災害復旧
17 安全性の向上
18 その他

記入例

1. 番号	2. 工種番号・分類(その1)	3. 工種番号・分類(その2)	4. 新技術の名称	5. 新技術の概要	6. 登録年度	7. 更新年度	8. 組織名(会社名)	9. キーワード(その1)	10. キーワード(その2)	11. 施工実績(件数)					12. 担当者所属・氏名	13. 担当者メールアドレス
										国営	公団営	県営	団体営	その他公共		
9	管水路(バイブライ)工		ABCバイブライ工法	当技術は、バイブライの管更生手法であり、非開削で通水しながら工事可能。耐久性、施工性にすぐれ、コストも従来の半分程度に抑えられている	H20		株ABC	12 施設の長寿命化	13 機能診断		4		4	2		